



故退職検事川淵龍起叙勲ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十六年二月六日

内閣總理大臣公爵近衛文磨



内閣



昭和十六年五月九日 勳章得達(御親筆)

昭和十六年二月五日 内閣總理大臣

内閣總理大臣

賞勳局總裁



故退職檢事正三位勳二等川淵龍起、明治十六年七月判事補に任官以來、檢事補、檢事、臺灣總督府法院檢察官、歴々再々、檢事、轉官名古屋東京兩地方裁判所、檢事正函館廣島宮城各控訴院、檢事、長要職に歴任シ、大正十二年四月退職セリ、其ノ間、日夜精勵司法事務、刷新改善ニ努力シ、就

賞勳局

中東京地方裁判所、檢事正在職中、所謂教科書疑獄事件起ルヤ、銳意部下、檢事及司法警察官ヲ指揮シテ之カ、檢擧當リ多數關係者、瀆職事件ヲ起訴シ、以テ教育界多年ニ亘ル宿弊ヲ一掃シ、綱紀、肅正ニ寄與スル所、尠カラズ、其、他退職後、廣島市長ニ就任シテ、地方自治、發達ニカノタル等功績顯著、者ニ候處、本月一日死去セル趣ニ付、此際特ニ同日附テ、勳一等ニ叙シ、瑞寶章ヲ授ケラレ度、此段允裁ヲ仰ク



退職検事正三位勳二等川淵龍起儀本月一日薨去致候處同人儀ハ  
明治十三年二月司法省法學生徒申付ラレ同十六年七月卒業直ニ  
判事補ニ任セラレ同二十年七月検事ニ任セラル同廿三年十月勅  
令第二百五十四號ニ依リ検事トナリ爾來大阪地方裁判所検事長  
崎控訴院検事佐賀地方裁判所検事正ヲ經テ同三十年三月臺灣總  
督府法院檢察官兼臺灣總督府民政局事務官ニ轉官高等法院檢察  
官ニ補セラレ覆審法院檢察官長、覆審法院檢察官ヲ歷任同卅二  
年十一月検事ニ轉官名古屋地方裁判所検事正ニ補セラル同卅四  
年四月東京地方裁判所検事正ニ補セラレ同卅五年四月高等官二  
等ニ陞敘セラル同卅六年十二月函館控訴院検事長ニ同卅八年十  
一月廣島控訴院検事長ニ補セラル同四十一年七月高等官一等ニ  
陞敘セラレ大正二年六月勳二等ニ敘シ瑞寶章ヲ授ケラル同六年  
二月宮城控訴院検事長ニ補セラレ同十二年四月七日裁判所構成  
法第八十條ノ二ニ依リ定年退職トナリ同月卅日特旨ヲ以テ正三  
位ニ敘セラル出身以來勤続三十九年餘ノ長キニ涉リ其ノ間地方  
裁判所検事正又ハ控訴院検事長ノ如キ監督官ノ要職ニ歷任シ日  
夜勵精部下職員ヲ指揮監督シテ繁劇ナル事務ヲ處理シ銳意司法  
事務ノ刷新改善ニ努力シ且當面ノ職司以外ニ執達吏登用試験委  
員、裁判所書記登用試験委員、判事検事登用第二回試験委員ヲ

又臺灣總督府在職中ニハ訴訟代人檢定委員、刑事訴訟手續取調委員等ヲ命セラレ能ク其ノ任務ヲ遂行セル外大正十四年八月廣島市長ニ就任以來同市ノ水力使用權ノ懸案並ニ瓦斯會社ニ對スル道路使用補償ノ懸案ヲ解決シ又同市廳舎新築工事ヲ竣工セシメ或ハ日治山公園ノ道路ヲ開設シ尙同市産業博覽會主催ニ力ヲ盡シ亦廣島市近接町村トノ併合ヲ圖リタル外地方自治制度ノ整備ノ爲努力セラレタル功勞顯著ナルモノアリ然ルニ同人儀ハ大正二年六月勳二瑞寶章ヲ授ケラレ以來退職ニ至ル迄九年十月ヲ經過シタルモノナルニ付特ニ生前ノ功勞ヲ錄セラレ相當進勳ノ御沙汰ニ浴セシメラレ度別紙履歷書ヲ具シ及上奏候也

昭和十六年二月三日

司法大臣 柳川平助





退職於事川淵龍起功績補遺

明治卅四年四月十七日ヨリ同卅六年十二月十八日迄東京地方裁判所於事正在職中所謂教科書疑獄事件起リテ全國的ニ擴大シタルハ因リ部下多ク勤ノ於事及司法警察官ヲ指揮シテ之カ於事ニ當リ休職縣知事視學官師範學校長中學校校長縣視學官高等師範學校教授等多ク勤被テ人ノ讀職事件ヲ起シタルハ功績顯著ナリハミリアリ其ノ外依賀右古屋右松方裁判所於事止及函館廣島宮城

各控訴院於事長在職中日夜精勵克ク部下職員ヲ指揮並習シテ繁劇ナル於事務刷新改良ニ努力シタルハ功勞甚大ナリ



年 號	月 日	事 項	名 氏	出生地	族 稱	本 籍 地
				舊 氏 名	年 月 日 出 生 ノ	
明治一三	二二七	法學生徒申付候事	川 淵 龍 起	高知縣吾川郡八田村百五十一番屋敷	平民	
"	一六七	法律學(第一等)卒業				
"	"	任判事補				
"	八一四	任檢事補				
"	"	勅令第四十號ヲ以テ裁判所官制ヲ定メラル				
"	一九五	判事登用試験及第				
"	二〇三	任檢事				
"	七五	任檢事				
"	"	敍奏任官五等				
履 歷 書 用 紙						
明治二〇	七五	下級俸下賜	司 法 省			
"	"	東京始審裁判所詰ヲ命ス				
"	一一八	大阪始審裁判所詰ヲ命ス				
"	一一七	京都始審裁判所詰ヲ命ス				
"	二二八	敍從七位				
"	"	陞敍奏任官四等	宮 内 省			
"	"	下級俸下賜	司 法 省			
"	"	東京始審裁判所詰ヲ命ス				
"	一〇一四	大阪地方裁判所詰ヲ命ス				
"	"	勅令第二百五十四號ニ依リ檢事				
"	二二	敍奏任官四等賜下級俸				
"	"	補大阪地方裁判所檢事				
"	八一四	大阪府平民荒木竹三郎ニ對スル窃盜被告事件				











司法省人庶第一六六號上奏  
右執奏有之度候也

壹件

昭和十六年二月三日

司法大臣柳川平助



内閣總理大臣公島財近衛文磨殿

退職給付川淵龍起叙勲1件

司法



228

裏面白紙